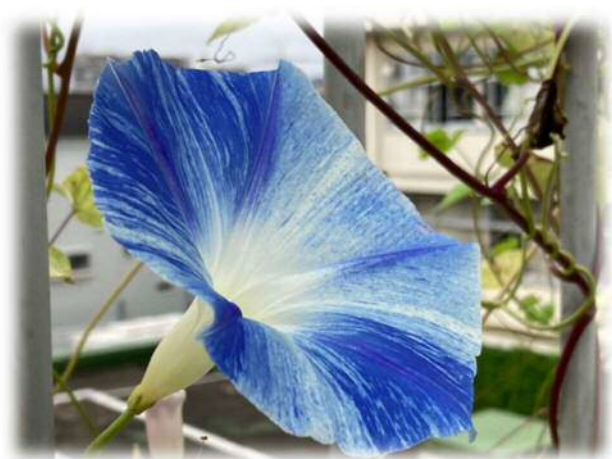


保護者の皆様・地域の皆様へ

緊急事態宣言の延長を受け、今週もハイブリッド授業を実施しています。オンライン授業は初めての挑戦でしたので、通信回線の不調や学校の対応が不慣れなために、御心配や不安をおかけしましたが、保護者の皆様の御協力と温かな励ましに支えられ、徐々にスムーズに行えるようになってきました。ありがとうございます。



一人一台タブレットを使ったいじめが報道され、不安を感じている方もいると思います。本校で貸与しているタブレットでも同様な事案が発生する可能性があるのかを教育委員会に問い合わせたところ、以下のような回答がありました。

- ・本市の導入しているシステムでは、児童だけでオンライン会議を開催したりチャットを行ったりすることが出来ない設定になっている。
- ・パスワードは一人一人個別のものとなっており、管理を確実に行えば「なりすまし」はおこらない。
- ・SNS 等によるいじめは増加しているので、情報モラル教育を充実させて児童生徒一人一人の意識を高めることが大切である。

本校でもオンライン授業開始当初は、チャット機能で乱暴な言葉を使ったり、授業とは関係のない書き込みをしたりするケースも見られました。担任がその場で注意を与え、保護者の方に連絡して家庭でも指導していただくことで、今は授業に関する質問や、通信状況の報告などチャット機能が適切に使用されています。

情報モラルの指導においても、家庭との連携は必須であると認識しています。車社会において「交通安全教育」が欠かせないように、情報化社会を生きる子どもたちにとって「ICTスキル」と共に「情報モラル教育」は欠かせません。保護者・地域の皆様さんと情報を共有しながら児童の安心・安全を守って一人一台タブレットの活用を進めていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

9月17日 校長 三村 悟